

WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

週報 38号
通算 2090回



例会日：水曜日
 第1・第2：18:30～(夜) 第3・第4・第5：12:30～(昼)
 例会場：ルメール華月殿 和歌山市屋形町 2-10
 事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23
 サイバーリンクス N-4ビル 2階
 TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>
 E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp
 会長：郷間博敏 幹事：奥村智子
 会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



高野町の木《高野檜》

本日の例会
 5月7日(水)
 18:30～華月殿

ロータリーング：君が代・われ等和歌山東南ロータリー
 行事：外部卓話「国際ロータリー第2640地区
 の発展を目指して」第2640地区ガバナー
 ミニ 岡本 浩様 (和歌山城南 RC)

次回の例会
 5月14日(水)
 18:30～華月殿

行事：会員卓話 辻本圭三会員
 「家族法について」

先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 赤井 誠

会長挨拶

郷間 博敏 会長

先日は熊本東南RC 創立 30 周年記念式典へ大勢の会員・ご家族の皆様でご参加頂き、
 ありがとうございます。
 また、本日は信太山への移動見学例会です。ご参加の皆様、お疲れのない様にしてくだ
 さい。「陸上自衛隊信太山駐屯地」見学、楽しみましょう。



幹事報告

奥村 智子 幹事

本日の幹事報告はございません。



ニコニコ箱

郷間君・陸上自衛隊信太山駐屯地見学、楽しんでいます。

4月23日(水) 移動見学例会行程表「陸上自衛隊信太山駐屯地」

- 11:15 集合 華月殿
- 11:30 バスにて出発(和歌山地方裁判所北側) バスの中で例会・昼食。
- 13:00～13:30 信太山駐屯地概要説明等講話(厚生センター)
- 13:30～13:40 信太山施設見学
- 13:40～14:10 修史館見学
- 14:10～ 休憩等
- 15:00 離隊後帰和 ⇒ 和歌山着16:30頃

信太山駐屯地広報の係の方にしただがって行動して頂くよう宜しくお願い致します。



《ロータリーの効用》

⑥ ロータリーは青春をつくる。

ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計 2,055,257	147,000	150,000	31,000	0

出席報告	出席者	出席率
会員総数	52名	4/23 21名 42.00%
出席免除会員	3名	4/9 42名 85.71%

移動見学会「陸上自衛隊信太山駐屯地」

○信太山駐屯地の概要（信太山駐屯地HPより抜粋）

信太山駐屯地は、日清・日露戦争において勇名を馳せた旧陸軍野砲兵第四聯隊が、大正8年11月に大阪法円坂より移駐し終戦まで駐屯し、終戦後の昭和20年から昭和32年までは米軍が駐留し、海兵隊の下士官養成学校として使われていましたが、昭和32年9月、陸上自衛隊信太山駐屯地として開設されました。

駐屯地の面積は約20万平方メートルで甲子園球場の約5倍の広さがあり、第17代履中天皇の皇子である市辺押齒皇子の墓といわれる鍋塚を中心に、各隊舎、厚生センター、体育館が整然と配置される緑が多い駐屯地でもあります。

また旧軍時代からの建物も数多く残っており、特に旧将校集会場は野砲兵第四聯隊が大阪法円坂より移駐時に、明治天皇の娘婿であられる当時の第一大隊長、北白川宮成久王殿下の執務室として建設され、その後終戦まで将校集会場として使用された建物で、歴史的価値も高く、現在では修史館（資料館）兼幹部集会場として使用されています。

○信太山駐屯地の誕生（信太山駐屯地HPより抜粋）

昭和20年の終戦後、米軍の調理学校・海兵隊の士官養成学校が一時駐留し自衛隊の前身である警察予備隊、保安隊も共同で使用していました。

昭和32年、信太山駐屯地が日本政府に返還後、地域住民の熱心な誘致運動が展開された結果、昭和32年9月市民の絶大なる歓迎を受け、陸上自衛隊の駐屯地として再び創設されました。

当時は、第7普通科連隊第3大隊・第4陸曹教育隊が基幹部隊とし、その他に業務諸隊が駐屯していました。

その後、昭和37年1月の師団改編に伴い第7普通科連隊第3大隊が母体となり、大阪城内に駐屯していた旧陸軍歩兵三七聯隊と同一連隊名を持つ大阪府唯一の第一線戦闘部隊の第37普通科連隊が誕生しました。

戦前の歩兵聯隊と同一の連隊名になることは珍しく本来であれば第39普通科連隊になる予定でしたが当時の陸上幕僚長で元陸軍参謀であり歩兵三七聯隊にも所属していた杉田一次が「由緒ある歩兵三七聯隊をぜひ同じ大阪府に」と指導があり、同一連隊名になったと言われています。

○第37普通科連隊（信太山駐屯地HPより抜粋）

第37普通科連隊は大阪府唯一の第一線戦闘部隊として大阪府大和川以南・和歌山県下を防衛警備及び災害派遣担当区域とし、有事の際には地上戦闘の骨幹部隊として機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に重要な役割を果たします。また、大規模な侵略への対処訓練の他、ゲリラや特殊部隊による攻撃への対処訓練、地方自治体と共同し、大規模災害を想定した防災訓練など、様々な訓練を行ない多様な事態への即応態勢の維持・向上に努めています。昭和37年1月18日師団改編に伴ない第7普通科連隊第3大隊を母隊に旧陸軍野砲四聯隊練武の地ここ信太山において、菊水聯隊と称せられた旧陸軍歩兵第三七聯隊（大阪法円坂に駐屯）の称号をそのまま継承して編成を完結しました。









